

長野県社保協ニュース <22-1>

2017年2月7日(火) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

2/4(土)長野県社保協第22回総会・講演会開催 安倍政権の暴走政治・社会保障連続改悪をストップさせ、 いのち・暮らしを守る大運動を地域から強めよう！ 予想される総選挙～安倍政権打倒めざし大奮闘しよう



2月4日(土)長野県社保協は、第22回総会及び記念講演会を、長野市の長野市生涯学習センター会議室で開催しました。当日は、午前10時から総会、午後1時から記念講演会が開かれました。

午前の総会では、4地区社保協(長野、松本、諏訪、飯伊)・15団体47名が参加し、代表委員の松丸さん(県推協)の開会挨拶(左写真)のあと、湯浅事務局長が活動方針、宮沢事務局次長が決算・予算案の提案・報告、磯野監事が決算監査報告がありました。討議では、10名の方から発言があり、各団体・地域の状況や1年間を振り返って活動の特徴や前進面、問題点などが出され、本年度の活動への思い・決意も語られました。討議のまとめをした

湯浅事務局長は、安倍政権の危険な暴走政治・社会保障連続改悪をストップさせるため、分断攻撃を跳ね返し、社会的連帯を強め、公的責任を要求し、地域から「いのち・暮らし」を守っていく大運動を展開しよう。そのためにも、団体・地域での学習を重視し、各団体の状況を交流しあい、共通の目標に向かって地道な活動を粘り強く展開しよう。と訴えました。

議案はすべて拍手で承認され、新年度の活動方針、決算・予算、新役員体制(下記参照)が確認されました。新役員体制では、5年間事務局長を務めた湯浅健夫さんが退任し、新しく原健さん(右写真)が事務局長に就任しました。両氏からそれぞれ退任、新任の挨拶がありました。

総会が終了後昼休みをはさみ、立教大学教授の芝田英昭氏を招いての記念講演会が開かれました。(別記参考)



<総会で選出された2017年度役員名簿> 一年間よろしくお願ひします。

代表委員：熊谷嘉隆(民医連)、鈴木信光(保険医協会)、茂原宗一(医労連)、細尾俊彦(県労連)、松丸道男(県推協)、北沢忠(年金者組合)

事務局長：原 健(民医連) <専任>

事務局次長：川畑和章(医労連)、宮澤淳司(保険医協会)、竹田憲子(県推協)、佐藤功(民医連)
村田洋一(諏訪地区)

運営委員：吉田由美子(高教組)、近藤克也(県教組)、服部壽一(県労連)、大久保益栄(県生連)、高橋夏美(新婦人)、菅田敏夫(年金者組合)、長商連は後日選出、林憲治(飯伊地区)、小野高聰(長野地区)、山崎健志(上伊那地区)、湯浅健夫(松本地区)

会計監査：磯野紀子(建交労)、戸沢一雄(年金者組合) <注*下線の方が新任の役員>

2/4(土)長野県社保協第22回総会 記念講演会

医療・介護改革の本質を問う

講師：立教大学コミュニティ福祉学部教授 芝田英昭氏

チラシで知り参加した市民、社保協加盟の団体構成員ら90名参加

長野県社保協は、さる2月4日(土)第22回総会を記念して公開講演会を開催しました。講演会には「チラシで知った」との市民や社保協加盟の団体の構成員など90名が参加しました。

講演は、立教大学コミュニティ福祉学部教授の芝田英昭氏による「医療・介護改革の本質を問う」でした。講師の芝田教授は、大学での教鞭の傍ら日本の医療・介護制度の改善のため、全国各地で講演活動をしています。先生曰く「去年は年間60回講演した」とのことでした。



講演では、高齢者の貧困状態を告発しながら、今通常国会にかけられる高齢者を狙い打ちした医療・介護の負担増と給付制限の予算措置と法改正によって、深刻な社会問題が引き起こされる危険がある。本当の医療・介護制度の改悪は、これからもやってくる。マイナンバーと医療・介護情報の結合でペナルティが一層強化される危険が大きく、1億監視社会になっていく危険性が高いなどを告発しました。



不公正な税負担と社会保険料負担の是正がどうしても必要で、「政策としての社会保障」は、「支配としての社会保障」と「権利としての社会保障」の力関係でその位置が決まる。つまり、国民と国家の力量の度合いでその位置が決まる。「政策としての社会保障」は、勝ち取るもので、社会保障運動の重要性、特に従来の運動の枠を超え、主義・主張が違う人たちとの連帯し、要求にもとづき、多くの市民を巻き込んだ運動の強化について力説しました。

参加者からは、「わかり易い話で、ワクワクした」「マイナンバーの恐ろしさを改めて知った」「医療・介護の給付の自己負担廃止は当然の指摘は良かった」などの感想が聞かれました。

長野県高齢期運動連絡会主催

長野県民学習決起集会

講演： 後藤 道夫 氏

(都留文科大学名誉教授)

仮題「高齢者の困窮拡大

—その現状と解決の道—

日時：3月5日(日)

13時30分開会~/16時~パレード

場所：長野市勤労者女性会館しなのき

学習講演後、中央通りをパレード予定です。
権堂アーケード通抜け⇒中央通り⇒昭和通り左折⇒長野大通り市役所前駅付近解散